

「生徒全員が主役」の学校を、みんなで作ろう

令和 8 年 (2026 年) 10 月 13 日 (火) 発行 文責：新堀 隆久



今週、伝えたいこと

「生徒全員が主役」という言葉を、言葉だけで終わらせない学校にしたいです。



てい きょん そうかい
定期演奏会

お疲れさまでした！

となりにいる人の「こうだったらいいな」を、最近、聞いたことがありますか。

みなさん、こんにちは。朝と夜の空気が、秋らしくなってきました。中間テストが終わって、ほっとしていますか。

先日、「みんなが主役の学校」というテーマで、アンケート(質問に答えてもらうこと)をしました。答えを「一つずつ読んで、いろいろ考えました。

まず、うれしかったことです。大洗高校には、人とのつながりを大切にしている人がたくさんいます。「学校生活で楽しいこと、やりがいがあること」を聞いたところ、部活動や学校行事のほかに、「友だちとの交流」という答えがたくさんありました。

「自分とはちがう背景(これまでの経験や、育ってきた場所)を持つ仲間と協力することは、いいことだと思いますか」という質問には、全員が「そう思う」か「まあまあそう思う」と答えました。大洗高校には、いろいろな個性(その人らしさ)や背景を持つ人がいます。そのちがいを「めんどろな事」ではなく、「いっしょにいることのよさ」だと思っている人が多いです。これは、この学校の大きな強みだと思います。

でも、校長として気になった答えもありました。「自分が主役だと思う」「自分の意見がとどいて思う」という質問に、「そう思う」と答えた人がいる一方で、そう思えない人もいました。

大洗高校は、「生徒全員が主役」という言葉をかかげています。だから、ここを大切にしたいと思っています。

学校を作るのは、先生だけではありません。生徒会や委員会だけでもありません。教室でふつうに過ごしている一人ひとりの「こうだったらいいな」「こんなことをやってみたい」という小さな思いも、学校を作る大切な材料です。今回の「こんな学校にしたい」という質問には、自由に書いてもらいました。こんな意見がありました。

- ・ほかのクラスとの交流会
- ・あいさつ
- ・自主性(自分から進んで行動すること)
- ・新しいことにチャレンジする
- ・1日の目標を立てて、実行して、ふり返る

「大洗高校のイメージを変えたい。もっとたくさんの中学生に、大洗高校を知ってほしい」という意見もありました。

どれも、「今すぐ大きなことを始めよう」という話ではありません。小さな声を聞きながら、「では、何ができるだろう」といっしょに考えていくことが大切だと思います。

今回のアンケートは、みなさんを、よい・よくない決めためのものではありません。今の大洗高校のよいところと、これから考えたいことを知るためのものです。

私たち先生や職員も、みなさんの声を受けとめて、よりよい学校を考えていきます。そして、みなさんにも「自分たちの学校を、自分たちで少しよくしてみよう」と思ってもらえたら、うれしいです。